

徳島

日本版クアオルト

『カジノ健康 保養システム』

文：日本カジノ健康保養学会 天野靖久

日本各地で、地域活性の起爆剤として、カジノを取り入れた街造りプランが発表されているが、その多くが、既存の施設や観光資源を活用する計画ではなく、その街が将来どのように発展するのか展望が見えてこない。

我々の提案する日本版クアオルト「カジノ健康保養システム」は、日々住んでいる街が豊かに、美しく、文化的に発展し、老若男女がより健康的に過ごせる健康湧出境界の実現を夢見て、健康の3要素「栄養・運動・休養」を包括したシステムで、地方の中小都市にふさわしいカジノからの収益を財源的下支えに活用して、健康の街造りを創出する。

このシステムが実現すれば、健康老人比率の向上、生活習慣病の減少、青少年の心身健康度向上、街の活性化と芸術化、生きがいの発見などといった「ウェルネス社会」が成立することだろう。

「自由民主党・国際観光産業としてのカジノを考える議員連盟」によって策定さ

れた「ゲーミング（カジノ）法・基本構想（案）」では、エンターテイメント複合施設としてのカジノが大きく取り上げられており、「住宅地、教育施設、医療・福祉施設等から一定距離を保持して設置されること、内外の顧客をひきつけることのできる地域における高規格の施設であることを条件付け、そのあり方は法令でこれを定める」とある。

しかしながら、日本全国で同じようなカジノができるものでもない。現在までに、1. アミューズメント型（東京）2. テーマパーク隣接型（大阪、沖縄）



健康街道

3. 小さな街のカジノ（徳島）などそれぞれの地域でいろんな提案がされているが、特に地方の中小都市においては、地域の地理的条件、歴史、伝統、文化、そういうものの中から地域とともにある街造りが大切なのではないかと考える。

昨年熱海で開催された日本カジノ創設サミットで、カジノ講演・岩屋殿事務局長が「私の地元の大部分は、まさに徳島の中西先生のカジノ健康保養システムに近い温泉保養文化と（カジノを）組み合わせたい形の『徳しのカジノ』といったイメージで構想するのがベストであると思

います」と言及されていたように。

ドイツのヴィースバーデンでは、温泉の優美な建物の中にクアハウス、コンサートホールがあり、カジノと歴史的に共存している。ドイツの由緒正しき形がある。

また、バーデン・バーデンは街そのものが巨大な庭園であり、カジノがあるクアハウスに加え、コンサートホール、格式あるレストランが併設され、街全体が荘厳な芸術となっている。バーデン・バーデンがあるバーデン・ヴェルテンベルク州の公認賭博に関する法律をみてみる



スバ「月と花」

と、カジノ事業者は事業収益の50%以上の税金を納める義務を負い、それはバーデン・バーデンの温泉治療施設管理の改革、観光の進行、州の文化財の保護、文化振興、インフラ基金、その他の公益目的に使用しなければならぬとなっている。

また、カナダにおいても、州では公営賭博の財入は公共土木事業、州民のための健康施設（病院、診療所など）、そして学校などの教育施設にむけられている。カナダの地域ベイスまたは慈善賭博基金の小さなものを指す「コミュニ

ティ・カジノ」、ドイツのヴィースバーデン、バーデン・バーデンなど世界のカジノには、日本の地方中小都市のモデルとして学ばべき場所が多くある。

ドイツやカナダをモデルにして、日本カジノ健康保養学会では、「カジノ健康保養システム」の啓蒙活動を行い、昨年、徳島県の空港がある松茂町に、スバ「月と花」を設立した。

当学会の中西代表が考案設立したスバ「月と花」は「からだところの再生」を考えた新スタイルの温浴施設で、温泉治療、健康コンサルティングを行う癒しのスペースである。施設内のカフェ「ルナファ」では、食生活指導、そして特に女性の健康と美を考えた食を提供し、隣接する「クリニック釈羅」では、治療はもちろん、メンタルヘルスケア、予防医学、アンチエイジングの実践を行っている。「月と花」に隣接する公園から街に続く健康街道（自然に触れ快適に散歩できる道のこと）が延びていくことにより、街全体が考慮された安心して住める街へと変身する。さらに「カジノ健康保養システム」を松茂町に導入すれば、日本版クアオルト「健康湧出都市」が誕生するであろう。人口が1万人弱の町であるが、カジノ財源を健康の街造りへ還元することで30年後は、バーデン・バーデンに近い街並みが出来上がることを考えている。

当学会では、平成17年10月18日（火）に「リトル・カジノナイト」を「月と花」で開催し、そこで日本版クアオルト「健康湧出都市」の創出、「カジノ健康保養システム」を提唱していきたくと考えている。